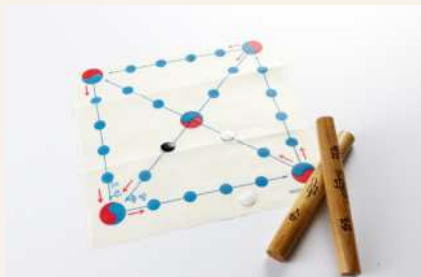
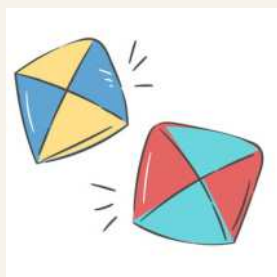


多文化共生 セミナー 韓国編

韓国出身の講師と一緒に
暮らし・文化・昔遊びにふれてみよう



日時：

2026年7月25日（土）

13:30～15:00

会場：浪江防災コミュニティセン
ター（旧浪江中学校敷地内）



講師：韓 在賢（ハン・ジェヒョン）

今日のながれ

ユンノリとパンチギを中心に、体験しながら進めます。

13:30–13:35

開会

趣旨説明・今日の流れ

13:35–13:50

自己紹介

ソウル → 東北 → 浪江

13:50–14:05

ことばと文化

あいさつ・似たことば・暮らし

14:05–14:35

ユンノリ

ルール説明 → 2チーム対戦

14:35–14:50

パンチギ

基本ルール → 練習 → ミニ対戦

14:50–
15:00

感想・アンケート・閉会

質問や感想を共有し、アンケートをご案内します。

講師紹介



- ・ 名前：韓 在賢（ハン・ジェヒョン）
- ・ 出身：韓国・ソウル
- ・ 学歴：東北大学 文学部 卒業（2023年）
- ・ 現在：浪江町在住／F-ATRAs所属
- ・ 主な仕事：地域観光・国際交流・語学クラスなど



これまでの歩み

① ソウルで育つ



韓国・ソウルの木洞（モクトン）で生まれ育ちました。

木洞は「木の村」と書き、現在は住宅地・学校・放送局などが集まる、暮らしやすい街です。

② 東北で学ぶ



大学進学をきっかけに日本へ来て、東北大学で行動科学を学びました。仙台での学生生活を通して、日本語や地域文化への理解を深めました。

③ 浪江で活動する



現在は浪江町で、地域観光・国際交流・語学クラスなどの仕事に携わっています。

町の皆さんや海外から訪れる方々との交流を通して、これからの浪江町のつながりや、まちづくりのあり方を考えています。

韓国での暮らし

食文化

- ・ごはん、スープ、麺など、日本と似た料理も多くあります。
- ・複数のおかずを家族や友人と分け合い、「一緒に食べる時間」を大切にします。
- ・辛さや味付けは、家庭・地域によってさまざまです。



韓国での暮らし

ことば・人間関係

- ・年上／年下に応じて、呼び方や敬語が変わります。
- ・初対面でも、年齢や出身地を尋ねることが比較的多いです。
- ・親しくなると、食事や日常を共有する深い関係になることもあります。

学校生活

- ・部活動や放課後の過ごし方など、日本と近い部分も多くあります。
- ・教育や進学への関心が高く、塾に通う子どもも少なくありません。

あいさつ

- ・礼儀や挨拶を大切にする点は、日本と共通しています。
- ・年上の人には、言葉と軽いお辞儀で敬意を表します。
- ・親しい間柄では、「ご飯食べた？」が気づかいの言葉になることもあります。



日本と韓国：似ているところ・ちがうところ

似ているところ

- ・ごはん・麺・スープなど、食卓の基本に近い部分があります。
- ・年長者への礼儀や、あいさつを大切にします。
- ・家族や地域とのつながりを重視する傾向があります。
- ・四季や行事、「一緒に食べる時間」を大切にします。

ちがうところ

- ・韓国では、年齢によって呼び方や話し方が変わる場面が多いです。
- ・初対面でも、年齢や出身地を聞くことが比較的自然です。
- ・韓国では、比較的早く打ち解ける場面も多いと感じます。
- ・日本では時間をかけて信頼を築き、親しくなると深く長い関係になると感じます。

※ あくまで、私自身の経験や印象をもとにした比較です。

ことばにも見える、日本と韓国の近さ

韓国語のかんたんあいさつ

韓国語	発音の目安	意味
안녕하세요	アンニョンハセヨ	こんにちは
감사합니다	カムサハムニダ	ありがとうございます
반갑습니다	パンガプスムニダ	お会いできて うれしいです
잘 부탁드립니다	チャル プタクトゥリ ムニダ	よろしくお願いします

漢字語には、音が似ているものもあります

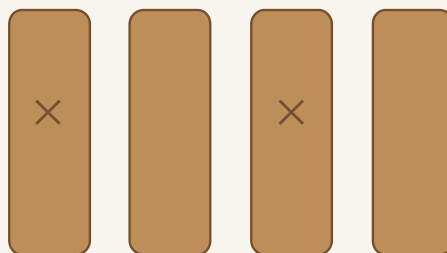
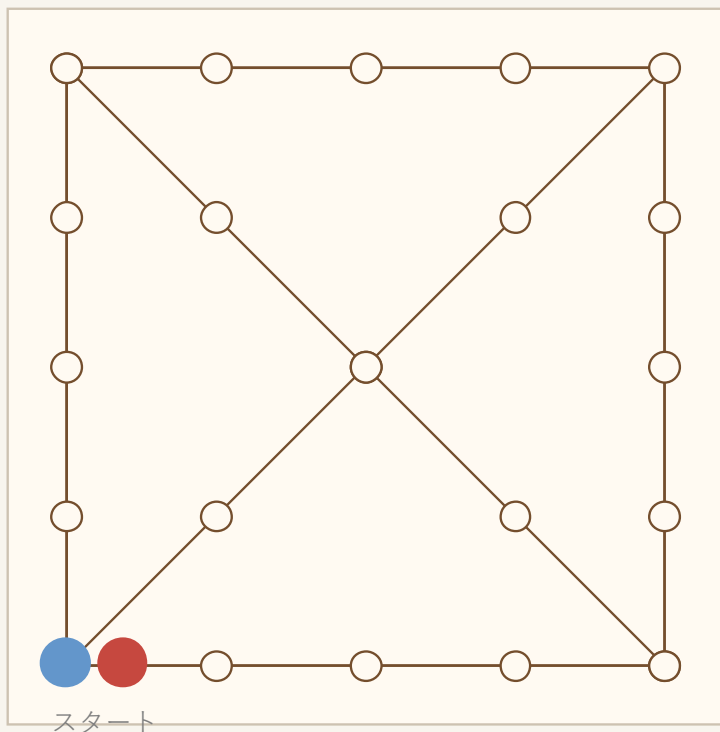
요리 (ヨリ) 料理 (りょうり)	약속 (ヤクソク) 約束 (やくそく)
준비 (ジュンビ) 準備 (じゅんび)	무리 (ムリ) 無理 (むり)
가족 (カジョク) 家族 (かぞく)	시간 (シガン) 時間 (じかん)

文の組み立ても似ています

저는 약과를 먹어요.
私は 菓菓を 食べます。
動詞が文の最後に来ることが多く、助詞や敬語
の使い方にも似た点があります。

昔遊び① ユンノリとは？

旧正月などに、家族や親戚で楽しむ韓国の伝統的なすごろく遊びです。



ユッ（윷）4本を投げて進みます

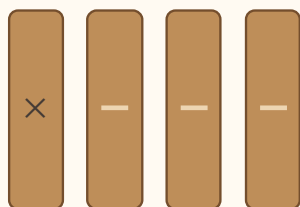
- ・チームごとに駒（マル）を動かし、すべての駒を盤上の道に沿って進め、ゴールさせます。
- ・ユッの表裏の組み合わせで、1～5マス進みます。
- ・進む道の選び方、相手の駒を取るタイミング、味方の駒を重ねるタイミングにも作戦性があります。

本日の体験は時間に合わせ、2チーム・各2駒の簡易ルールで行います。

ユッの目と進む数

本日のセットでは、印のある「平らな面」が上になった本数を数えます。

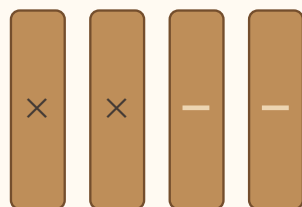
도 (ト)



1マス進む

平らな面：1本

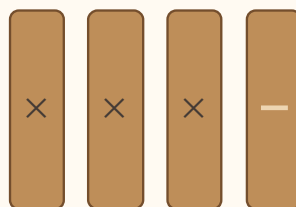
개 (ケ)



2マス進む

平らな面：2本

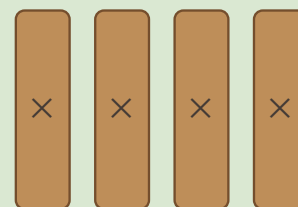
걸 (コル)



3マス進む

平らな面：3本

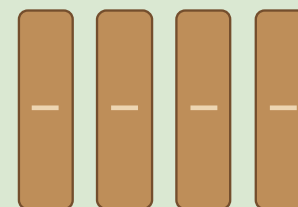
윷 (ユッ)



4マス進む

もう一度
投げられる

모 (モ)



5マス進む

もう一度
投げられる

※ ユッやモが出たとき、または相手の駒を捕まえたときは、もう一度投げられるルールが一般的です。

当日のユンノリ：10人前後なら2チーム制

1台の盤で全員が参加しやすく、20～25分で終わる簡易ルールです。

青チーム：5人前後 ／ 駒2個

赤チーム：5人前後 ／ 駒2個

- ・ チーム内で順番を決め、1人ずつ交代でユッを投げます。
- ・ 出た目の数だけ、どちらか1つの駒を進めます。
- ・ 相手の駒に止まると、相手の駒はスタートへ戻ります。
- ・ 味方の駒に止まると、重ねて一緒に動かします。
- ・ ユッ・モ・捕獲に成功した場合は、もう一度投げます。
- ・ 先に2つの駒をゴールさせたチームの勝ちです。

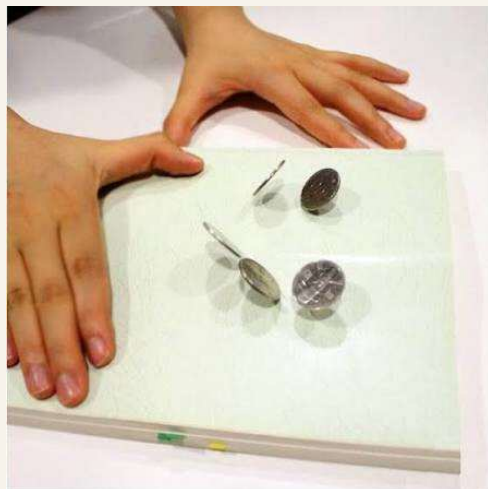
20分で終わらない場合

- ① ゴールした駒の数
- ② 残りの駒の進んだ距離の順で勝敗を決めます。

チームで相談しながら、全員が順番に参加します。

昔遊び② パンチギとは？

硬貨と本・ノートを使った、学校の勝負遊びとして知られています。

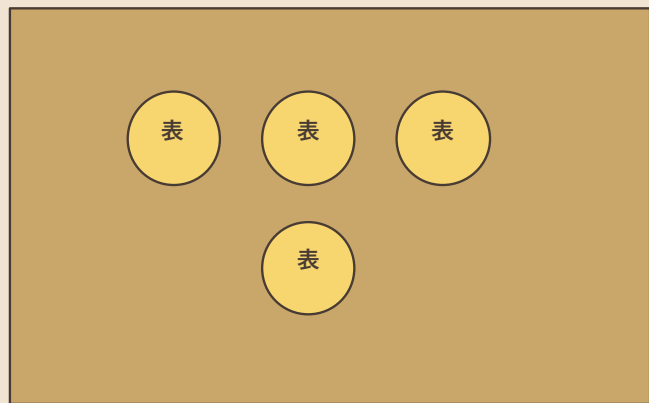


身近な道具だけでできるため、学校で広まった遊びです。

- ・地域や学校によって、さまざまな呼び方やローカルルールがありました。
- ・硬貨を本の上に置き、硬貨ではなく本だけをたたいて裏返します。
- ・実際の硬貨を賭ける形で行われ、学校では問題視された遊びでもあります。
- ・今日は実際のお金を賭けず、文化体験として安全に楽しめます。

パンチギの基本ルール

一般的なルールを、当日体験用に分かりやすく整理します。



本・ノートの上に硬貨を置く

- ・ 100円玉4枚を、本または厚めのパンフレットの上に並べます。
- ・ じゃんけんで先攻を決めます。
- ・ 硬貨には触れず、台となる本・パンフレットだけをたたきます。
- ・ 4枚すべてが同じ面になれば、その人／チームの勝ちです。
- ・ 硬貨が台の外へ落ちた場合は、その回をやり直します。

当日は100円玉を「遊び道具」としてのみ使用します。
実際のお金は賭けず、勝敗は紙チップや得点で記録します。

パンチギのコツ：勝つためのスキル

運だけではなく、力加減と狙い方が大事です。



硬貨の近くをねらい、力を入れすぎない

- ・硬貨ではなく、台となる本・パンフレットの面をたたきます。
- ・硬貨の近くをねらい、台の振動でひっくり返すイメージです。
- ・強くたたきすぎると、硬貨が外へ飛び出しやすくなります。
- ・硬貨が外へ落ちたら「ナク（落）」として、その回をやり直します。

練習の流れ：

① 1枚で力加減を確認 → ② 2枚で練習 → ③ 4枚で勝負

パンチギ：得点制ミニゲーム

紙チップを使い、「賭けの仕組み」だけを安全に体験します。

準備

- ・2チームで対戦
- ・100円玉4枚を台に置く
- ・各チームに紙チップ5枚

1回の勝負

- ・両チームがチップ1枚を中央へ出す
- ・じゃんけんで先攻を決める
- ・4枚すべて同じ面なら勝ち
- ・硬貨が落ちたらやり直し

勝敗と景品

- ・5戦3勝制（短縮時は3戦2勝）
- ・勝者が中央のチップ2枚を獲得
- ・優勝チームに韓国菓子を追加

記録例

Aチーム：○ ○ × ○ → 3勝で勝ち

Bチーム：× × ○ ×

今日のまとめ

- ・韓国と日本には、食文化や礼儀、ことばなど、身近な共通点がたくさんあります。
- ・一方で、人との距離の縮め方や遊び方には、それぞれの特徴があります。
- ・ユンノリとパンチギの体験を通して、韓国の文化を身近に感じていただけたらうれしいです。
- ・多文化共生の第一歩は、まず会い、話し、一緒に体験してみることです。

**ご参加いただき、
ありがとうございました。
質問・感想があれば、ぜひ気軽にお
聞かせください。**

アンケートにご協力ください！ 今後の多文化共生事業をよりよくするため、本日のご感想をお聞かせください。

所要時間：約3分

QRコードを読み取り、ご回答をお願いいたします。

※読み取りが難しい場合は、 スタッフまでお声がけください。

